



平成 30 年 11 月 8 日

各 位

会 社 名 株式会社ユーザベース  
 代表者名 代表取締役社長(共同経営者) 稲垣 裕介  
 代表取締役社長(共同経営者) 梅田 優祐  
 (コード: 3966、東証マザーズ)  
 問合せ先 経営財務企画担当専門役員 兼 CFO 村上 未来  
 (TEL: IR 専用問い合わせ窓口 03-4533-1999)

### 特別利益の発生及び通期連結業績予想の上方修正に関するお知らせ

当社は、平成 30 年 11 月 8 日開催の取締役会において、以下のとおり、最近の業績の動向等を踏まえ、本年 7 月 2 日に公表した平成 30 年 12 月期（平成 30 年 1 月 1 日～平成 30 年 12 月 31 日）の通期連結業績予想（以下、「前回修正予想」という。）を修正することとしましたのでお知らせ致します。併せて、平成 30 年 12 月期の第 4 四半期連結会計期間の決算において、特別利益を計上することになりましたのでお知らせ致します。

#### 1. 当期の連結業績予想数値の修正（平成 30 年 1 月 1 日～平成 30 年 12 月 31 日）

	連結売上高	連結 EBITDA	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 8,850～9,150	百万円 902～1,130	百万円 430～790	百万円 30～400	百万円 △450～△90
今回修正予想 (B)	9,000	1,000	650	350	350
増減額 (B - A)	△150～150	△130～98	△140～220	△50～320	440～800
増減率 (%)	△1.7～1.6	△12.5～10.9	△17.8～51.2	△12.5～916.6	—
(参考) 前期連結実績 (平成 29 年 12 月期)	4,565	595	545	518	438

(注) EBITDA (営業利益+減価償却費+のれん償却額)

#### 2. 修正の理由

下記「3. 特別利益の発生について」で説明の通り、特別利益が発生する見込みとなったこと、平成 30 年 7 月 31 日付で買収した Quartz Media, Inc. (以下「Quartz 社」という) にかかるのれんの金額および償却期間、買収に際してのアドバイザー手数料など、本買収にかかる会計処理方法が決定したこと、また平成 30 年 7 月 2 日付適時開示「通期業績予想の修正に関するお知らせ」にてレンジでの業績予想を公表していましたが、第 3 四半期連結会計期間の決算が終了し、各ビジネスにおける着地見込みについて一定の見通しが立ってきたことから、連結売上高、連結 EBITDA、連結営業利益、連結経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益について前回発表の業績予想の修正を行うものです。

なお、通期の連結業績予想につきましては、「SPEEDA」事業、「NewsPicks」事業共に堅調に計画通り推移しており、連結売上高、連結営業利益、連結経常利益のいずれも前回発表予想のレンジ内で着地するものと見込

んでおります。

### 3. 特別利益の発生について

平成30年10月5日付適時開示「NewsPicks USA, LLC の完全子会社化に関するお知らせ」に記載の通り、NewsPicksUSA, LLC（以下「NewsPicks USA 社」という）を完全子会社化致しました。NewsPicks USA 社の株式を追加取得することによる会計処理において、段階取得による差益として589百万円の特別利益を計上することとなりました。

（注）上記の予想値は、現時点における入手可能な情報に基づいて算出しておりますが、実際の業績は今後の様々な要因により、予想数値とは異なる結果となる可能性があります。

以 上